



地下鉄大江戸線の延伸へ！ 大きく前進！！

～国の答申（案）で鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクトとなりました～

と き 平成28年4月7日（木）発表

平成28年4月7日に国の交通政策審議会の小委員会において、答申（案）として「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」（案）が示されました。

答申（案）では、地下鉄大江戸線の延伸（光が丘～大泉学園町）を地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクトとしました。昨年7月に、東京都は、大江戸線延伸を優先的に整備を検討すべき鉄道路線（都内5路線）として選定しました。答申が正式決定されると、国と東京都から、整備に向けた明確な位置づけを得たこととなります。

答申（案）を受け、本日、前川 耀男（まえかわ あきお）練馬区長はコメントを発表いたしました。

今後、区は、答申（案）で示された課題に対応するため、沿線まちづくりや大江戸線延伸推進基金の積み増しに積極的に取り組んでいきます。また、事業予定者である東京都とより緊密に協議を進め、早期着手を目指します。

【区長コメント】

練馬区北西部は、23区に残された数少ない鉄道空白地域です。大江戸線の延伸は、これを大きく改善するものであり、区長就任以来、最も重要な課題のひとつとして、全力で取り組んできました。

このたび、国の諮問機関である交通政策審議会の答申（案）として「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」（案）が示されました。答申（案）では、大江戸線の延伸を、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクトとして評価していただきました。昨年7月には、東京都から、優先的に整備を検討すべき鉄道路線（都内5路線）として選定されています。答申が正式決定されれば、国と東京都から、整備に向けた明確な位置づけを得たこととなります。実現に向けた大きな前進であります。

今後は、答申（案）で示された課題に対応するため、沿線まちづくりや大江戸線延伸推進基金の積み増しに積極的に取り組みます。事業予定者である東京都とより緊密に協議を進め、早期着手を目指していきます。

引き続き、区民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

【これまでの取り組み】

促進活動

練馬区は、昭和 63 年より地域住民・区議会・区が一体となった「大江戸線延伸促進期成同盟(会長 前川耀男練馬区長)」を設立し、促伸促進活動に取り組んでいる。

導入空間の整備とまちづくり

大江戸線の導入空間となる都市計画道路は、延伸区間全てが事業化され、既に一部交通解放している。土支田中央土地区画整理事業の工事は完了し、駅前広場の用地も確保している。

事業予定者との協議

平成 27 年 1 月より、東京都と実務レベルでの協議を行っており、これまでに延伸の意義必要性、収支採算性、新駅周辺を含む沿線まちづくりなど、基本的な事項について、認識を共有している。

大江戸線延伸推進基金

平成 23 年度に大江戸線延伸推進基金を創設し、平成 27 年度現在、約 16 億円の積み立てている。また、平成 28 年度は 10 億円の積み増しを予定している。

【問合せ】

練馬区 大江戸線延伸推進課 大江戸線延伸推進担当係 電話 03 - 5984 - 1584